

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	健美道
住 所	大阪府大阪市東成区東小橋3-9-20
電話番号	06-4307-3992

事業所番号	2711500575
管理者名	後藤 茂幸
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15 点
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注2）5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合:-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計
170 点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 6 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	93,932.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	14,138.5	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.64	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	----------	---	----------------	------	----

(II) 生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々々年度（ 4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	83,797,970	円	利用者に支払った賃金総額	81,900,858	円	収支	1,897,112	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（ 5 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	14,299,004	円	利用者に支払った賃金総額	82,225,865	円	収支	▲ 67,926,861	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（ 6 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	120,558,292	円	利用者に支払った賃金総額	119,339,330	円	収支	1,218,962	円
-----------------	-------------	---	--------------	-------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（ 6年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(IV) 支援力向上

前年度（ 6年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☐
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	障がい者雇用に係る研修会
研修講師	西 絢華
実施日・受講者数	3月 19日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	先進的A型事業所の生産活動発表会
実施日	1月 11日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	健美道の生産活動

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☐
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☐
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	A型事業所ワークサポート鶴見
実施日/参加者数	1月 10日 2人
上記事業所び視察を受け入れる	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	ハンドメイドマルシェ
主催者名	小さな英園株式会社
日時	2月 22日
内容	事業所で作成した商品の展示・販売会への出品・参加。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	2022年 12月 1日
人事評価制度の対象職員数	11名
うち昇給・昇格を行った者	11名
当該人事評価制度の周知方法	
就業規則での記載。年3回の人事評価シート記入時の説明。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

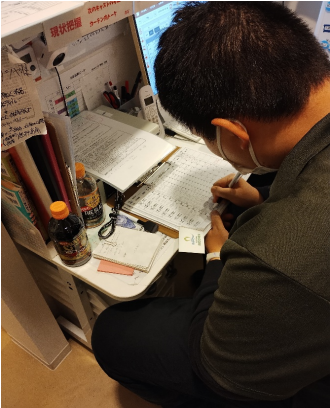
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	健美道	事業所番号	2711500575
住 所	大阪府大阪市東成区東小橋3-9-20	管理者名	後藤 茂幸
電話番号	06-4307-3992	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> <活動場所> 手もみ処 R E C O V E R <実施日程> 月・火・水・木・金・土 <実施した生産活動・施設外就労の概要> もみほぐし施術・集客の為の看板等の作成・受付業務 <利用者数 等> 1日4人～7人	<活動の様子> 
<目的> <地域連携活動のねらい> 社会の中で役に立つ仕事をしていると実感して頂き、一般の方々には利用者様の技術の高さを知っていただく <地域にとってのメリット> 高い技術のもみほぐし施術を安い価格で受けられる。 <対象者にとってのメリット> たくさんの方との関わりの中でスキルやマナーの向上ができる	
<成果> <実施した結果> いろんなお客様からお礼の言葉を頂いて、とてもやりがいを感じられている <得られた成果> お客様の声やリピーターの来院で自分の技術に自信を持つことができるようになった <課題点> 集客数はやりかた次第でもう少し高い数字を見込めるので、今後イベント等の企画も考えていきたい	

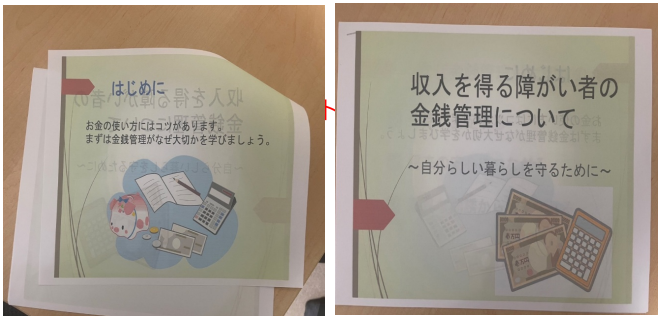
連携先の企業等の意見または評価

いつも集客から施術、お見送りまでお客様に携わる事全てにとっても積極的かつ熱心に参加してくださっていて、集客数や売り上げの増加に貢献してくださっています。 お願いしていた仕事の他にも、突発的にできた仕事にも柔軟かつ積極的に対応してくださり、とても助かっております。 とても真面目に取り組んでくださっていて、お客様からも満足の声が上がっております。 今後も引き続き連携していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。			
連携先企業名	株式会社 オーガスタ	担当者名	葛山 智美

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	健美道	事業所番号	2711500575
住 所	大阪府大阪市東成区東小橋3-9-20	管理者名	後藤 茂幸
電話番号	06-4307-3992	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所・・・当法人事務所内 実施日程・・・令和7年2月3日（月） 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 ・・・利用者の金銭管理研修 利用者数・・・6名	<活動の様子>  
<目的> お金の使い方や貯め方をプロの意見を聞きながら学ぶことで、金銭的に余裕をもった生活をして頂くことを目的としている。 生活に余裕が出てくれば精神的にも安定し、仕事や生活にも良い影響が出てくることが期待できる。	
<成果> あまりお金について真剣に考える機会がないので、良い学びになったと皆さん話されていた。 金銭管理に苦手意識を持っていた方が多かった中、分かりやすい資料でポイントを教えてもらい、自分にもできそうだと認識できた事は確かな成果だと思われる。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

障がいをお持ちの方に金銭管理の大事なところを学んでいただくことは、地域社会の中で暮らしていく為にはとても大切な試みであると評価できます。 今回のお話が利用者様の生活にどこまで落とし込めるているかは定かではありませんが、何より大切なのは今後の金銭管理がどう変化するかなので、今後も連携をとらせて状況確認をさせて頂ければと思います。	
連携先企業（担当者）	社会保険労務士法人インフォ・テック（西岡大介/社労士）

利用者からの意見・評価

A さん（男性） 今まで貯金をしたことがなかった。ですが今回のお話で今の給料でも小さなことを積み重ねれば、十分貯金していけるイメージができたので自分の給料と必要な支出をきちんと自覚し、無駄遣いせずに貯金をできるように生活を見直したいと思いました。 B さん（女性） 金銭管理は全て家族に任せてしまっていたので、自分でしていけるようになりたいと思いました。すぐに1人でするのは難しいと思うので最初は今の自分の支出を数字で自覚するところから始めようと思います。
--